

2019.2.22 <計2枚>

京都教育記者クラブ加盟各社 各位
文部科学記者会加盟各社 各位

立命館大学広報課

立命館小学校 正頭英和教諭 “教育界のノーベル賞”と言われる「グローバル・ティーチャー賞」 トップ10にノミネート

立命館小学校(所在地:京都市北区、学校長:後藤文男)の正頭英和(しょうとう・ひでかず)教諭は、このたび、“教育界のノーベル賞”と言われる「Global Teacher Prize 2019(グローバル・ティーチャー賞)」のトップ10に世界約3万件以上のエントリーの中から唯一の日本人教諭としてノミネートされました。日本人としては3人目、小学校教諭としては日本人初のノミネートとなります。

次期学習指導要領では、主体的・対話的で深い学び(アクティブ・ラーニングの視点からの授業改善)が求められています。授業改善の大きな転換点となる中、正頭教諭は英語の授業でマイクラフトを活用し、ゲームを通して海外の小学校と交流させるPBL授業を2017年から行ってきました。「これからの時代は、『使える英語力の育成』が重要になる。従来の英語授業・指導方法ではなく、大きなシフトチェンジが必要」という考え方のもと、普段の生活圏ではなかなか世界とのつながりを感じる機会が少ない児童たちに、マイクラフトで製作したお互いの国々の世界遺産を紹介する機会を創出することにより、児童たちは英語でのコミュニケーション力やプレゼンテーション力を自然と身につけています。

今回のノミネートは、正頭教諭のユニークな指導法に加え、教育者としてのこれまでの到達点や教育への問題意識、児童らの教育論なども評価されてのノミネートとなります。

ノミネートされたファイナリスト10人は、3月にアラブ首長国連邦のドバイで開かれる教育フォーラムでのパネルディスカッションに参加し、10人の中から優勝者が決定します。

<正頭英和教諭のコメント>

立命館小学校の教育理念や学習環境、多くの先生方の協力があつてこそその成果だと考えています。立命館小学校の教育を世界に広げられるチャンスになればと思っています。



正頭英和教諭

<グローバル・ティーチャー賞とは>

イギリスの国際教育機関「バーキー財団」が設立した国際的な賞で、“教育界のノーベル賞”とも称されています。今年で5回目の発表を迎え、教育分野で優れた功績を挙げた教諭・教師・先生が表彰されます。

グローバル・ティーチャー賞公式ホームページ(英語): <https://www.globalteacherprize.org/>

●取材・内容についてのお問い合わせ先

立命館大学広報課 担当:名和

TEL.075-813-8300

<http://www.ritsumeai.ac.jp/>

別紙

正頭英和(しょうとう・ひでかず)教諭 経歴

大阪府吹田市出身 1983年2月7日生まれ 36歳

【略歴】

2005年3月 関西外国語大学 外国語学部英米語学科 卒業

2007年3月 関西大学大学院 外国語教育学研究科 修了

2011年4月より立命館小学校に勤務

【著書】

『教師の負担を軽くする！ 60の技で4技能を圧倒的に伸ばす 英語授業の裏ワザ指導術』

明治図書出版 (2018年2月)

『生徒をテスト好きにする 6つのアイデア×8の原則で英語力がぐーんと伸びる! 英語テストづくり&指導アイデア BOOK (中学校英語サポート BOOKS)』

明治図書出版 (2017年4月)

『クラスが集中する 5つの分類×8の原則で英語力がぐーんと伸びる! 音読指導アイデア BOOK (中学校英語サポート BOOKS)』

明治図書出版 (2015年9月)

『英語授業の心・技・愛 ―小・中・高・大で変わらないこと』 研究社 (2014年11月)